

書くことが、 好きでいられる場所がある。

かりん書道教室 谷島由佳 Yajima Yuka



「書くことを、嫌いにならないでほしいんです」。

筑西市内の公共施設で書道を教える谷島さんは、そう語ります。

子育てが一段落した頃、再び筆を取り、努力を重ねて師範の資格を取得しました。

週4日、自身の教室でも子どもたちと向き合い、一人ひとりの個性を大切に指導しています。

「大きな字も、小さな字も、その子ならではの表現なんです」。

うまく書くことより、まず書くことが好きになることを、何よりも願っています。

学校で賞をもらった日、誇らしげな表情で報告に来る子どもたち。

その姿が、谷島さんの教え続ける原動力になっています。

今日も、子どもたちの筆先から、まちの未来が描かれています。

■ 谷島さんのおすそわけは、

書道を始めたい子、子どもに書道を習わせたい人に
アドバイスすることです。

連絡先は、LINE

LINE

